

れきはくもよおし案内

令和5年度(2023年4月～2024年3月)



おかげさまで
開館40周年



兵庫県立歴史博物館

HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒670-0012 姫路市本町68番地 TEL 079-288-9011
ホームページ <https://rekihaku.pref.hyogo.lg.jp/>

れきはく講演会

友の会共催 事前申込

▶ 歴史研究の最前線。研究成果をお話しいたします

- 時間／各回14:00～15:30
- 場所／講堂
- 定員／80名
- 費用／無料

1 5月28日 日 「明治の人々が結びたかった山陰と山陽～陰陽連絡鉄道の夢～」
小西 伸彦 氏 就実大学総合歴史学科特任教授、産業遺産学会理事長
申込 4月16日(日)～5月9日(火)

2 10月29日 日 「西脇小学校と日本の小学校建築のあゆみ」
足立 裕司 氏 神戸大学名誉教授
申込 9月17日(日)～10月10日(火)

3 2月25日 日 「波賀森林鉄道復活の夢」
波賀元気づくりネットワーク協議会
申込 1月14日(日)～2月6日(火)

4 3月 3日 日 「播磨のたたら製鉄」
土佐 雅彦 氏 ひょうご歴史研究室客員研究員
申込 1月21日(日)～2月13日(火)

れきはく連続講座

事前申込

▶ 当館の学芸員が連続で解説する古文書の世界に挑戦してみませんか

- 時間／各回14:00～15:30
- 場所／多目的ルーム
- 定員／20名
- 費用／無料

1 6月24日 日 「古文書に親しむ(中世中級編)」
7月 1日 日 前田 徹
7月 8日 日 申込 5月13日(土)～6月6日(火)

2 2月24日 日 「古文書に親しむ(近世編)」
3月 2日 日 大黒 恵理
3月 9日 日 申込 1月13日(土)～2月6日(火)

歴史の旅

友の会共催 事前申込

▶ 当館の学芸員が皆さんを歴史の舞台へご案内します

- 定員／20名
- 費用／実費+保険料(100円)

1 11月18日 日 「福知山線廃線跡に鉄道遺産を訪ねる」
案内／鈴木 敬二
申込 10月7日(土)～10月31日(火)

2 12月 2日 日 「姫路・野里レトロ探見ツアー」
案内／鈴木 敬二
申込 10月21日(土)～11月14日(火)

れきはくアカデミー

事前申込

▶ 当館の学芸員が研究結果を発表します

- 時間／各回14:00～15:30
- 場所／講堂
- 定員／80名
- 費用／無料

1 5月14日 日 「黎明期の阪神間の鉄道遺産」
鈴木 敬二 申込 4月2日(日)～4月25日(火)

2 5月27日 日 「“津の国の隠れ里”近世伊丹を支えた人々」
竹内 信 申込 4月15日(土)～5月9日(火)

3 7月30日 日 「斎藤崎庵の詩と絵画」
山口 奈々絵 申込 6月18日(日)～7月11日(火)

4 8月20日 日 「天狗とはなにか」
香川 雅信 申込 7月9日(日)～8月1日(火)

5 10月15日 日 「20世紀初頭の広告と社会」
吉原 大志 申込 9月3日(日)～9月26日(火)

6 1月14日 日 「古銭を楽しむ～企画展出品資料から」
前田 徹 申込 12月3日(日)～12月26日(火)

7 3月31日 日 「琉球王国の美術工芸文化とその継承」
山田 加奈子 申込 2月18日(火)～3月12日(火)

大人のためのワークショップ

友の会共催 事前申込

▶ 歴史や美術に触れる体験をしてみませんか

- 時間／各回14:00～16:00
- 場所／多目的ルーム
- 定員／20名

1 10月21日 日 「れきはくを撮る1DAY写真教室」
講師／神戸新聞映像写真部記者 費用／無料
申込 9月9日(土)～10月3日(火)

2 12月 9日 日 「浮世絵摺り体験」
講師／神戸市立博物館学芸課職員 費用／1,000円(友の会会員600円)
申込 10月28日(土)～11月21日(火)

キッズワークショップ

事前申込

▶ 鯨瓦の歴史などについて知るとともに、オリジナルミニ鯨瓦を作ってみよう！

- 時間／14:00～15:30
- 場所／多目的ルーム
- 定員／10名
- 費用／300円(材料費)
- 対象／小学生以下

8月19日 日 「オリジナルミニ鯨瓦をつくろう！」
薬科 有美(当館学芸員)
申込 7月8日(土)～8月1日(火)

れきし博士スクール

事前申込

▶ ホンモノの資料に触れて学び、さらに博物館をじっくり探検します

- 時間／13:30～16:30
- 場所／多目的ルーム
- 定員／20名
- 費用／無料

8月26日 日 「歴史にひたろう～史料を読み解き、歴史のなぜ？に挑戦～」
山内 敬男 氏(兵庫教育大学教授)、当館職員
申込 7月15日(土)～8月8日(火)

教員セミナー(先生のための1日)

事前申込

▶ 歴史博物館を活用した魅力ある授業や、楽しい校外学習などを考えませんか

- 場所／講堂
- 定員／20名(教員・教育機関関係者対象)
- 費用／無料

8月23日 日 「博物館活用法～本物に出会う感動体験を子どもたちに～」
申込 6月19日(月)～7月21日(金)
内容については各学校等に送付する募集案内でご確認ください。

ひょうご歴史文化フォーラム

事前申込

▶ 兵庫の歴史ファンが集う場、兵庫の地域史研究者の研究成果発表・情報提供の場として年に一度のフォーラムを開催します。(日時・会場等詳細は別途公表)



ひょうご歴史研究室

◆ひょうご歴史研究室は、平成27年(2015)4月、県民の郷土に対する愛着を深め、「ふるさと意識」に根ざしたひょうご文化の発展・継承をめざし、館内に開設されました。県内外の自治体や大学関係者などと連携して、次のテーマを中心に研究を進めています。

①大阪湾岸と淡路の地域史 ②たたら製鉄

なお令和2年度(2020)から「鳴門の渦潮」調査研究プロジェクトにも着手しています。

◆研究成果を公表するための『研究紀要』の発行や、県民向けのフォーラム等を開催するほか、随時、関連企画もおこなう予定です。

詳細は「ひょうご歴史研究室」ホームページ(<https://rekihaku.pref.hyogo.lg.jp/laboratory/>)をご参照ください。

下記SNS等で情報発信しています。
ぜひご覧ください。



ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube

兵庫県立歴史博物館友の会

郷土の歴史を愛好する人々が、歴史博物館を通して生涯学習や交流を深めています。会員には様々な特典があり、自分にあったボランティア活動にも参加できます。詳細は当館事業企画課まで

- ① 観覧料金の免除
- ② 友の会だよりの送付
- ③ 講演会などイベント情報の送付
- ④ 研修旅行・史跡ウォーク(会員限定)への参加
- ⑤ ボランティア活動への参加
- ⑥ 図録の割引販売
- ⑦ 当館カフェでの飲食料金の割引
- ⑧ 提携館の入場料を割引

会員の
特典

年会費

おもな
活動紹介

正会員	年間会員(4月～3月)	3,000円
	後期会員(10月～3月)	2,000円
高校生以下	年間会員(4月～3月)	2,000円
正会員	後期会員(10月～3月)	1,000円
家族会員	(正会員の同居家族1名につき)	1,000円

- 研修旅行
① 「吉備路を巡る」 5月17日 日
② 「京洛東の近代遺跡を訪ねる」 10月11日 日
- 史跡ウォーク
「鵜野飛行場跡周辺を歩く」 11月11日 日

各もよおしへの申込み方法

★事前申込みもよおしは、申込み期間中(受付開始は開催日の6週間前)に当館ホームページから、もしくは往復はがきにてお申込みいただけます。申込者が定員を超えた場合は抽選とし、結果は申込者全員にお知らせします。ホームページ：各もよおしのご案内ページから申込み手続きを行ってください。受信拒否などをされている場合は、あらかじめ[at:pref.hyogo.lg.jp]からのメールを受信できるように、設定の変更をお願いします。

往復はがき：次の①～⑥を記入し、兵庫県立歴史博物館事業企画課(姫路市本町68)あてにお申込みください。
①もよおし名 ②住所 ③名前(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号
⑥友の会会員の方は会員番号

- ★参加費以外に交通費・入館料等の実費が必要となる場合があります。
- ★小学生以下が参加する場合は、保護者同伴とし、保護者の名前も記入してください。
- ★お申込みにあたっては、お一人ずつ手続きをしてください。(往復はがき1枚につき1人の申込みとなります。グループなど複数名での参加ご希望には添えませんのでご留意願います。)

※詳細は当館事業企画課までお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染状況等により、すべてのもよおしの内容を変更する場合がありますので、最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

利用のご案内

開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は開館。翌平日休館)

臨時休業／館内の保守点検のため、下記の期間は休館です。
令和5年12月11日(月)～令和5年12月18日(月)

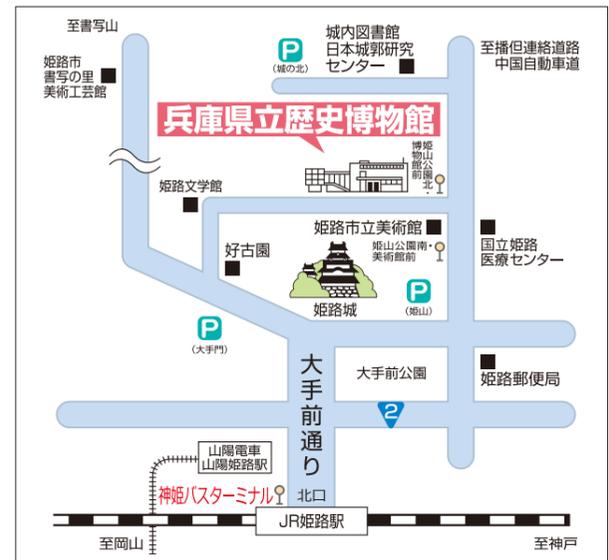
年末年始休館／令和5年12月29日(金)～令和6年1月3日(火)

観覧料／①1階は無料です。2階カフェのみをご利用の場合、観覧料は不要です。
②講堂・多目的ルームでの催しのみに参加される場合、観覧料は不要です。(別途参加費が必要な場合があります)

一般	大学生	高校生以下
200円	150円	無料

※特別展・企画展の際は、観覧料が変更となります。
※70歳以上の方は半額です。
※障がい者は別途割引があります。障がい者1人につき、介護者1人は無料となります。
※団体でのご来館をご希望の場合は、事前にお問い合わせください。

区分	10:00～12:00	13:00～17:00	10:00～17:00
講堂使用料	4,200円	8,400円	12,600円



交通

- JR姫路駅・山陽電車山陽姫路駅から、神姫バス「国立姫路医療センター経由」系統で約8分、「姫山公園北・博物館前」で下車
- 城周辺観光ループバスで約8分、「博物館前」下車

駐車場

- 近隣の市営有料駐車場(城の北、姫山)をご利用ください。
- 大型バスでご来館の場合は、事前に当館にご連絡ください。

月別もよおし



HISTORY OF MUSEUM
—れきはくの“これまで”と“これから”—

海洋堂と博物館
—フィギュア・ジオラマ・日本文化—

令和5年(2023) 4月	8日 開館40周年記念特別展開幕 [HISTORY OF MUSEUM] —れきはくの“これまで”と“これから”—
	14日 れきはくアカデミー1 [黎明期の阪神間の鉄道遺産]
	17日 友の会研修旅行1 [吉備路を巡る] ※
5月	27日 れきはくアカデミー2 [“津の国の隠れ里”近世伊丹を支えた人々]
	28日 れきはく講演会1 [明治の人々が結びたかった山陰と山陽～陰陽連絡鉄道の夢～]
6月	18日 開館40周年記念特別展開幕 [HISTORY OF MUSEUM] —れきはくの“これまで”と“これから”—
	24日 れきはく連続講座1 古文書に親しむ(中世中級編)(1)
	1日 れきはく連続講座1 古文書に親しむ(中世中級編)(2)
	8日 れきはく連続講座1 古文書に親しむ(中世中級編)(3)
7月	15日 開館40周年記念&姫路城世界遺産登録30周年記念特別展開幕 [海洋堂と博物館—フィギュア・ジオラマ・日本文化—]
	30日 れきはくアカデミー3 [斎藤崎庵の詩と絵画]
	19日 キッズワークショップ [オリジナルミニ鯉瓦をつくろう!]
	20日 れきはくアカデミー4 [天狗とはなにか]
	23日 教員セミナー [博物館活用法—本物に出会う感動体験を子どもたちに—]
8月	26日 れきし博士スクール [歴史にひたろう—史料を読み解き、歴史のなぜ?に挑戦—]
	3日 開館40周年記念&姫路城世界遺産登録30周年記念特別展開幕 [海洋堂と博物館—フィギュア・ジオラマ・日本文化—]
9月	23日 開館40周年記念企画展開幕 [ひょうご五国のやきもの]

10月 11日 15日 21日 29日 11日 18日 26日 2日 9日 23日 14日 18日 24日 25日 29日 2日 3日 9日 16日 31日

11日 友の会研修旅行2 [京都洛東の近代遺跡を訪ねる] ※	ひょうご五国のやきもの
15日 れきはくアカデミー5 [20世紀初頭の広告と社会]	
21日 大人のためのワークショップ1 [れきはくを撮る1 DAY写真教室]	
29日 れきはく講演会2 [西脇小学校と日本の小学校建築のあゆみ]	
11日 友の会史跡ウォーク [鷗野飛行場跡周辺を歩く] ※	
18日 歴史の旅1 [福知山線廃線跡に鉄道遺産を訪ねる] ※	
26日 開館40周年記念企画展開幕 [ひょうご五国のやきもの]	
2日 歴史の旅2 [姫路・野里レトロ探検ツアー] ※	
9日 大人のためのワークショップ2 [浮世絵摺り体験]	
23日 開館40周年記念企画展開幕 [古銭・古札を楽しむ—館蔵・寄託のコレクションから—]	古銭・古札を楽しむ —館蔵・寄託のコレクションから—
14日 れきはくアカデミー6 [古銭を楽しむ—企画展出品資料から—]	
18日 開館40周年記念企画展開幕 [古銭・古札を楽しむ—館蔵・寄託のコレクションから—]	
24日 れきはく連続講座2 古文書に親しむ(近世編)(1)	
25日 れきはく講演会3 [波賀森林鉄道復活の夢]	れきはくが新しくなって帰ってきたよ!
2日 れきはく連続講座2 古文書に親しむ(近世編)(2)	
3日 れきはく講演会4 [播磨のたたら製鉄]	
9日 れきはく連続講座2 古文書に親しむ(近世編)(3)	
16日 開館40周年記念&兵庫・沖縄友愛50周年記念特別展開幕 [首里城と琉球王国]	首里城と琉球王国
31日 れきはくアカデミー7 [琉球王国の美術工芸文化とその継承]	

※印のもよおしは、現地で実施されるんだよ。気をつけてね!

開館40周年記念特別展 会期：令和5年4月8日(土)～6月18日(日)

HISTORY OF MUSEUM

—れきはくの“これまで”と“これから”—

兵庫県立歴史博物館は、昭和58年(1983)、特別史跡・姫路城跡内の北東の位置に開館しました。2度のリニューアルとこのたびの施設・設備大規模改修工事を経て、令和5年(2023)に開館40周年を迎えます。

本展では、開館から今に至る“れきはく”40年の軌跡を当時の資料や写真などでたどるとともに、これまで収集保管してきた“れきはく”の館蔵品の数々を、過去の展示会を振り返りながら紹介します。また、今後の博物館のあり方について、ユニバーサルミュージアムの観点からも考えていきます。

“これまで”も“これから”も愛される博物館となりますように。



〔兵庫県立歴史博物館〕画：沢田伸 作家蔵

開館40周年記念企画展 会期：令和5年12月23日(土)～令和6年2月18日(日)

古銭・古札を楽しむ

—館蔵・寄託のコレクションから—



菅野コレクションをはじめとする当館収蔵の古貨幣資料から、日本と中国の古銭・古札を展示します。中国の歴代王朝が発行した銅銭、日本の大判・小判、近代の各種貨幣のほか、現在の兵庫県で発行された多種多様な近世藩札類などをご紹介します。お金もデジタルに切り替わりつつあるこのごろですが、実物の古貨幣が持つさまざまな魅力をお楽しみください。

リニューアルオープンした今年 開館40周年を迎えました

開館40周年記念&姫路城世界遺産登録30周年記念特別展

海洋堂と博物館

—フィギュア・ジオラマ・日本文化—

会期：令和5年7月15日(土)～9月3日(日)



ボックスジオラマ [海洋堂古生物博物館 第10展示室] 海洋堂フィギュアミュージアム黒壁蔵

平成11年(1999)、「チョコエッグ」のオマケ動物フィギュアによって一大食玩ブームを巻き起こし、日本を代表するフィギュアメーカーとして知られるようになった海洋堂。その作品や活動には、「日本文化」と「博物館」への志向といったものを見ることができます。この展示会では、海洋堂の作品を通して、「日本文化」そして「博物館」の特質そのものを逆照射してみたいと思います。

コレクションギャラリーの展示予定

コレクションギャラリーでも館蔵資料等を展示しています

- 春季 [HANDS-ON—未来の博物館を目指して—] 令和5年4月8日～6月18日
- [画手文心—斎藤崎庵の詩と絵画—] 令和5年7月1日～8月13日
- 夏季 [日本遺産 銀の馬車道 鉱石の道] 令和5年8月19日～10月1日 (主催/銀の馬車道ネットワーク協議会・兵庫県立兵庫津ミュージアム)
- 秋季 [組上絵—江戸・明治のペーパークラフト—] 令和5年10月7日～令和6年1月7日
- 冬季 [形的の近代—塩田経営文書から—] 令和6年1月13日～3月31日

内容を変更する場合がありますので、ご了承ください。



開館40周年記念企画展 会期：令和5年9月23日(土)～11月26日(日)

ひょうご五国のやきもの



赤地青 東山焼 色絵萩草文四方花瓶 明治期 当館蔵

丹波焼や出石焼など、ひょうご五国の各地では古くから様々なやきものが焼かれ、その技や作品の一部は現在まで受け継がれてきました。何世代にもわたって受け継がれた陶磁器や、窯跡などに打ち棄てられた陶片など、様々な形で現代まで継承されたひょうごのやきものを、当館のコレクションを中心に紹介します。各地の多彩なやきものや、それらを生み出した各地域の魅力に触れていただければ幸いです。

開館40周年記念&兵庫・沖縄友愛50周年記念特別展

首里城と琉球王国

会期：令和6年3月16日(土)～5月12日(日)

1429年に成立した琉球王国は、アジアで広く貿易を展開して独自の文化を開花させました。慶長14年(1609)の薩摩藩による侵攻後には、美術工芸や文学・芸能の振興に力を注ぎ、その文化は隆盛しました。しかし、明治12年(1879)の琉球処分から昭和20年(1945)の沖縄戦の間に首里城をはじめとする多くの文化財が失われました。

本展では、首里城を拠点とした琉球王国の歴史、近世琉球の美術工芸品、風土に根ざした民俗を紹介するとともに、令和元年(2019)の焼失後、復元が進められている首里城正殿など、沖縄における文化の保存・継承を目指す取り組みを取り上げます。



沖縄県指定文化財 開得大君御殿雲龍黄金鑿 沖縄県立博物館・美術館蔵